

今月の安全運転管理

レジャー運転 長時間の運転が 事故を招く

①行楽期の交通事故防止対策を進めよう

- こまめな休憩を呼び掛けよう
- 旅行先での飲酒運転防止を指導しよう

②春の全国交通安全運動期間【5月11日(木)～5月20日(土)】

- 横断歩道での歩行者優先の徹底



レジャー運転での こまめな休憩を呼び掛けよう

大型連休などで、多くの人が車を使用するこの時期に、従業員に対して連休中の安全運転を指導しましょう。

連休中は多くの人が車で移動するため、渋滞や事故が発生して、予想以上に時間がかかる場合があります。遅れを取り戻そうとして、長時間の連続運転をしていると、漫然運転や居眠り運転に陥り重大事故を起こす危険が高まります。

従業員に対して、こまめな休憩をとることを指導しましょう。具体的には、二時間運転したら、十五分程度の休憩をとることを呼び掛けましょう。また、休憩は疲れを感じてからとるよりも、疲労回復の前にとる方が、疲労回復の効果が高いとされています。こまめな休憩をしっかりと、こまめな休憩をしっかりと

とることを徹底させてください。

旅先での飲酒運転防止を 指導する

飲酒運転は危険かつ悪質な違反行為であり、いかなる場合であっても決して許されるものではありません。

連休中は、管理者の目が届きにくく、気が大きくなって「一杯」ということになりかねません。連休の前に、改めて飲酒運転根絶を指導しておきましょう。

安易な飲酒運転が、失職や一家離散のほか、他人の尊い命を奪つことに直結することなどを紹介しましょう。

また、二日酔い運転にならないよう、旅行中は飲酒を適量に抑えるよう指導してください。

横断歩道での 歩行者優先を徹底させよう

春の全国交通安全運動が

五月十一日から実施されます。重点の一つが「横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上」です。

また、当県では毎月十日を「横断歩道の日」と定めて、横断歩行者保護を推進しています。

事業所でも、横断歩道での歩行者に対する保護意識の醸成を図りましょう。

横断歩道は歩行者優先です。横断歩道を渡ろうとしている人がいる場合は、必ず一時停止をして歩行者に進路を譲ることを徹底させましょう。

ダイヤマークを見かけたら、横断歩道への接近を意識して、減速を呼び掛けておきましょう。

一方、歩行者の立場から、横断時に手をあげ渡る意思を伝える、横断中も安全確認を怠らないなどの安全対策も指導しましょう。